

射水市公共施設白書

平成 28 年 6 月

射 水 市

目次

第1章	公共施設白書について	1
1-1	背景	1
1-2	目的	1
1-3	白書の構成	2
第2章	公共施設を取り巻く現状	4
2-1	市の概況	4
(1)	位置及び面積	4
(2)	地勢	4
(3)	歴史的概況	5
2-2	人口の動向	6
(1)	人口の推移	6
(2)	年齢3区分別人口の推移	7
(3)	将来人口推計	8
2-3	財政の状況(普通会計)	10
(1)	歳入の推移	10
(2)	歳出の推移	12
(3)	実質公債費比率・将来負担比率の推移	14
(4)	財政の見通し	16
第3章	公共施設の全体像	18
3-1	検討対象施設の整理	18
3-2	建築年度別の状況	21
(1)	公共施設(建物)の状況	21
(2)	インフラ資産の状況	24
3-3	他自治体との比較	28
(1)	他自治体との比較に当たって	28
(2)	富山県内自治体(10市)との比較	31
(3)	類似自治体との比較	32
(4)	比較結果から見えた課題	34
3-4	施設コストの状況	35
3-5	将来の更新費用の推計	38
(1)	前提条件および推計方法	38
(2)	公共施設(建物)の更新費用	41
(3)	インフラ資産の更新費用	42
(4)	公共施設等の更新費用	47

第4章 施設類型別の状況 49

4 - 1	市民文化系施設	49
4 - 2	社会教育系施設	73
4 - 3	スポーツ・レクリエーション系施設	84
4 - 4	産業系施設	115
4 - 5	学校教育系施設	126
4 - 6	子育て支援施設	140
4 - 7	保健福祉施設	154
4 - 8	医療施設	171
4 - 9	行政系施設	175
4 - 10	公営住宅	189
4 - 11	公園	197
4 - 12	供給処理施設	200
4 - 13	その他施設	206
4 - 14	病院施設（市民病院事業会計）	218
4 - 15	普通財産	219
4 - 16	施設利用に関するアンケート調査結果	224

4 - 1 ~ 4 - 15 については、それぞれ、以下の内容を掲載

- (1) 施設類型概要
- (2) 耐震化率
- (3) フルコストの状況
- (4) 利用者数の推移
- (5) 利用状況分析
- (6) 施設の現状

第5章 公共施設等維持管理上の課題 232

用語解説 235

第1章 公共施設白書について

1 - 1 背景

我が国では、高度経済成長期の昭和30年代から50年代に整備された公共施設等の多くが一斉に更新の時期を迎えようとしています。

その一方で、地方公共団体の財政は厳しい状況が続くとともに、人口減少社会の到来、少子高齢化の進行等が影響し、今後の公共施設等の利用需要は変化していくことが見込まれます。

このような状況から、地方公共団体においては、公共施設等の全体を把握し、長期的視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現し、時代に即したまちづくりを行っていくことが必要であり、公共施設等の総合的な管理による老朽化対策を推進することが求められています。

とりわけ本市のように平成の大合併によって機能的に重複した公共施設を複数所有することとなった自治体には喫緊の課題となっています。

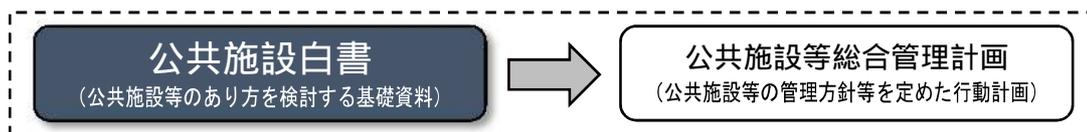
これまでも、公共施設の統廃合については合併の最大のメリットであることから、行財政改革の一環として積極的に進めてきていますが、将来にわたって健全な行財政運営を継続していくためには、さらに強力に進めていくことが必要です。

1 - 2 目的

健全な行財政基盤を堅持していくためには、本市が所有する建物、公園、道路、橋りょう、上・下水道などの公共施設等について、将来の人口規模や財政状況に応じて適正に管理していく必要があります。

射水市公共施設白書は、人口や財政状況等の公共施設を取り巻く背景を踏まえ、本市が保有する公共施設等について、利用状況やコスト等も含めた現状と今後の課題を総合的に整理し、今後のあり方を検討するための基礎資料となります。

なお、本書の内容を基に、公共施設等の総合的な管理方針などを定める「公共施設等総合管理計画」を策定します。



1 - 3 白書の構成

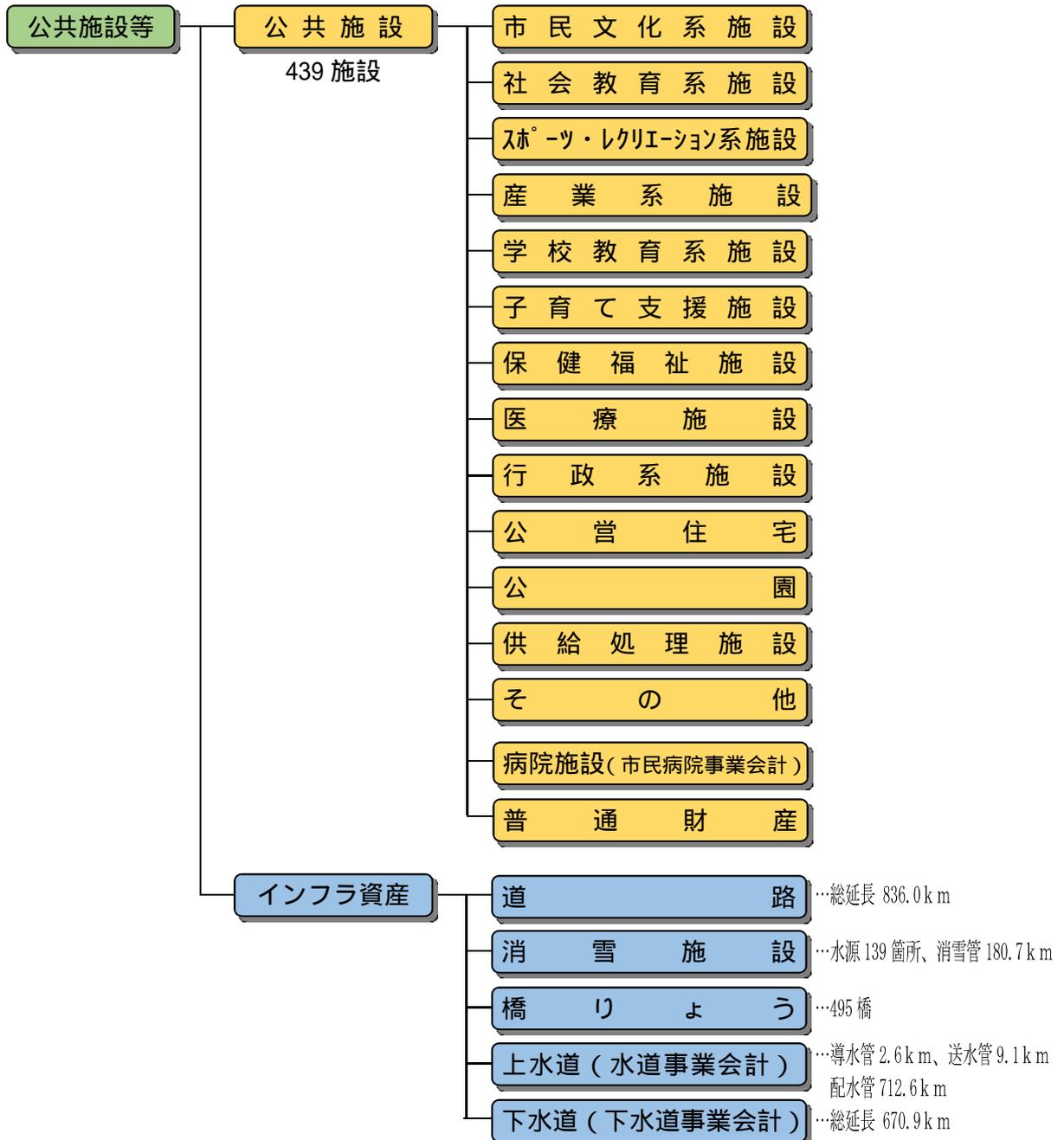
本書の構成は、以下のとおりです。

第2章 公共施設を 取り巻く現状	2 - 1 市の概況	本市の位置及び面積、地勢、歴史的概況を示します。
	2 - 2 人口の動向	本市の人口、年齢3区分別人口の推移、将来人口推計の結果を示します。
	2 - 3 財政の状況	本市の歳入・歳出の推移、実質公債費比率・将来負担比率の推移、今後の財政の見通しを示します。
第3章 公共施設の 全体像	3 - 1 検討対象施設の整理	検討対象となる公共施設（建物）及びインフラ資産の概要を示します。
	3 - 2 建築年度別の状況	公共施設（建物）における延床面積、耐震化などの状況、道路などのインフラ資産の状況を年度別に表示します。
	3 - 3 他自治体との比較	本市と人口規模・面積が類似している市及び富山県内市町村との延床面積などの比較結果を示します。
	3 - 4 施設コストの状況	検討対象施設について、フルコストの状況を示します。
	3 - 5 将来の更新費用の推計	検討対象施設について、今後40年間の更新費用推計の結果を示します。
第4章 施設類型別の状況	公共施設（建物）について、市民文化系施設、社会教育系施設などの15類型ごとに、施設類型概要、耐震化率、フルコストの状況、利用者数の推移、利用状況分析、施設の現状を示します。	
第5章 公共施設等維持 管理上の課題	本市の概況、人口、財政、公共施設等の状況、今後の見通しを踏まえ、公共施設等維持管理上の課題を示します。	

本市が所有する公共施設は 439 施設（うち普通財産 24 施設）であり、インフラ資産は、道路が総延長約 836.0 k m、橋りょうが 495 橋、消雪施設が水源 139 箇所・消雪管 180.7km、上水道が導水管 2.6 k m・送水管 9.1 k m・配水管 712.6 k m、下水道が総延長 670.9 k mです。

本書では、本市が所有する公共施設等を検討対象施設とし、以下の公共施設（建物）15 類型およびインフラ資産 5 類型を基本として整理します。

【検討対象施設・施設類型】



公共施設には、賃借物件を含む。